

甲賀市の花・木・鳥



花 ササユリ 木 スギ 鳥 カワセミ

● 今月の納税等 ●

- 固定資産税(2期)
- 国民健康保険税(4期)
- 保育料・幼稚園使用料
- 介護保険料(4期)
- 後期高齢者医療保険料
- 公共下水道使用料・農業集落排水施設使用料・処理施設使用料

納期限は8月1日(月)です

市税等の納付には、便利な「口座振替」をご利用ください。

編集・発行

甲賀市役所

〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地
☎0748-65-0650 ㊟0748-63-4554

甲南庁舎

甲賀市甲南町野田810番地
【上下水道部】
☎0748-86-8000 ㊟0748-86-8032
【教育委員会】
☎0748-86-8002 ㊟0748-86-8380

市民窓口センター

甲賀市水口町水口6053番地
☎0748-62-1621 ㊟0748-63-4086

土山地域市民センター

甲賀市土山町北土山1715番地
☎0748-66-1101 ㊟0748-66-1564

甲賀大原地域市民センター

甲賀市甲賀町相模173番地1
☎0748-88-4101 ㊟0748-88-3104

甲南第一地域市民センター

甲賀市甲南町野田810番地
☎0748-86-4161 ㊟0748-86-8029

信楽地域市民センター

甲賀市信楽町長野1203番地
☎0748-82-1121 ㊟0748-82-3415

※上記4つの地域市民センターは、旧支所の地域市民センターで、従来の支所機能を有します。

「広報あいこうか」がホームページでもご覧いただけます!

● 甲賀市ホームページ

<http://www.city.koka.shiga.jp/>

『広報あいこうか』の名称は市民憲章のそれぞれの頭文字を並べてできる「あい こうか」から名付けています。市民憲章とともに皆さんに親しまれる広報誌をめざします。



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用した FSC 認証用紙を使用しています。



▲お話を伺った
奥田代表取締役社長

当社は、1954年の創業以来、土木工事を中心として実績を積み重ね、現在では県内トップクラスの工事実績を誇ります。建築工事においてもマンション、公共施設、寺社から一般住宅まで幅広く対応している総合建設会社です。特に地下工事では、TRD・JSTといった地盤改良工法の技術を有し、その豊富な経験と技術の蓄積から工事実績は全国各地に広がっています。この工法は、宅地地盤強化や土壌汚染対策に有効であるとともに、地震時の

■ 環境にやさしい地盤改良技術で社会に貢献する総合建設会社

株式会社三東工業社

http://www.santo.co.jp/

琵琶湖の環境再生に向けて
湖岸のコンクリート造成工事など琵琶湖環境保全関連工事の受注では県下最多。また、藻の有効活用としてバイオエタノールの研究の実績や、省資源化、リサイクルへの取り組み、さらに生物多様性

液状化現象を防ぎ、安全性と耐久性に優れています。
また、95年には日本証券業協会(ジャスタック)に株式を上場し、現在では県内建設業唯一の上場会社として、その信頼性を認められています。



▲施工した信楽浄化センター



▲施工した市内企業社屋(SUS株式会社)

DATA
設立 昭和29年
従業員数 86名
所在地 信楽町江田610番地
82-1111 ㊟82-1114

(代表取締役社長 奥田克実氏談)

本業を通してお客様の要望に応える
私たちがめざすものは、土木構造物や建築物の完成という一時的なものではなく、ご要望にお応えすることで生産性の向上に貢献し、生涯にわたってお客様の利益を創造する「生涯利益」の実現です。
今後、総合建設会社の強みと専門性を生かして、お客様のあらゆる要望にお応えできるよう努めてまいります。

甲賀市工業会についての問い合わせ

甲賀市工業会事務局(商工政策課)
☎65-0709 ㊟63-4087

*このコーナーでは、甲賀市工業会に加盟されている、ものづくり企業を紹介していきます。



甲賀ボン蔵 ©2008 甲賀市工業会

編集後記

今回は、春の叙勲の受章者6名にお会いし、貴重なお話を伺うことができました。どなたにお会いしても周囲の方の応援や協力のおかげで今回の受章に至ったと、感謝の気持ちを述べられました。

自らの信念や行動はもちろん、周囲の理解や協力を得られなければ物事を成し遂げることは困難です。常に感謝の気持ちを持って接する姿勢が大切なのだと感じました。

市の花であるササユリは、初夏に見ごろをむかえ、派手さはありませんが可憐な姿のとても美しい花です。



今回受章された皆さんも、普段から地道に努力され、謙虚な気持ちで今日を迎えられたことが、受章という大きな花を咲かせられたのだと思います。改めて、おめでとうございます。㊟